

## さくら小説

作詞 はらやま しずお      作曲  銀杏らみ

やっぱり 君は来ない どこかでそう思っていたけど  
夜の公園前は 静けさの中 月は明るく  
今はただ 時間（とき）を待つだけ 心の雲 流れる時間（とき）を  
やがて僕は エンジンをかけて この街の 景色にとけてゆき  
そして 静かに 見えなくなる

※ 好きになってはいけないと 思えば想うほど

気持ちは からまわり

今 読んでるノベルの中の 結末を重ねてみよう

僕の中の 小さな恋

君のこころの部屋は いくつに別れて いるんだろうか  
僕は遠くて ただ見てる ノックをすることも出来ずに  
どんな絵が かかっているのか 何色のカーテン 君をつつむ  
もう少しこの道を行けば もう二度と 引き返せなくなる  
そして今 僕の 足が止まった

※ repeat

好きになってはいけないと 思えば想うほど

気持ちは からまわり

今 読んでいるノベルは あと少しで

読み終える でも結末は 知っている 君に会えない